

第4期宇治市生涯学習審議会 第11回審議会

会議名	第4期宇治市生涯学習審議会 第11回審議会
日時	平成23年2月22日(火)午後1時30分から4時
場所	宇治市生涯学習センター 1階 第2ホール
出席者	(委員) 森川 知史 委員長、杉本 厚夫 委員長職務代理、奥西 隆三 委員、門脇 洋子 委員、迫 きよみ 委員、向山 ひろ子 委員、弓指 義弘 委員、渡辺 孝明 委員、坂田 耕作 委員、清水 桂子 委員、竹之下 典祥 委員、原 保彦 委員、古川 彩 委員、俣野 良子 委員、六嶋 由美子 委員
	(事務局) 澤畑 信広 教育部次長兼生涯学習センター所長、安達 昌子 生涯学習課主幹、久泉 昭人 生涯学習課主幹、上野 映子 生涯学習課生涯学習係長、谷 泰明 生涯学習課事業係長、森 敦子 生涯学習課主査、佐野 雅俊 生涯学習課主事
	(傍聴者) 1名
<p>前回の会議録について、委員からの意見が特になかったため、公開することとなった。</p> <p>開会のあいさつ (委員長) 自分はコミュニケーションについて話をしているが、果たしてどのくらい伝わっているのだろうか？新しい出版社の方は徹底的にコミュニケーションについて聞いてこられるので、いかに人に伝えることが難しいか、ということを感じた。</p> <p>(1) 報告事項 平成22年度山城地方社会教育委員連絡協議会研修会について 全国社会教育大会京都大会実行委員会報告 宇治市ジュニア文化賞・ジュニア文化奨励賞および宇治市スポーツ賞について 宇治まなびんぐ2011について その他</p>	

第4期宇治市生涯学習審議会 第11回審議会

について

(委員)

ポスターセッションは何回かしたことがあるが、最初はもっとポスターに色々書いたほうが良いと思った。しかし、相手と話をしていく中で分かってくることもあるのだと感じた。

(委員長)

欲張って全てをポスターに書かない方が良い。会話(対話)が大事。

(委員)

ポスターセッションは、第3者が見ても分かりやすい。フリーにディスカッションできるのはよいが、会場がもっと大きくなった場合には大きい声で話さないとならない。パネルで仕切るなど、何か方法が必要なのでは。

(職務代理)

非常に見やすかったと思う。他の市町村の中にはポスターのサイズを間違われたところもあったが、最後の感想の際にそれを述べると会場に笑いが起きた。このことを受けて、今回のポスターセッションは成功したと感じた。失敗・課題を共有できることは非常に大切である。

について

(職務代理)

基調講演・シンポジウムの内容が決定した。

< 基調講演 >

講師：鷲田 清一氏(大阪大学総長)

< シンポジウム >

テーマ：「社会的親」の創出による「公共力」の醸成

コーディネーター：

杉本 厚夫氏(京都府社会教育委員連絡協議会長)

内藤 正明氏(佛教大学社会学部公共政策学科教授、京都大学名誉教授)

宮本 勝浩氏(関西大学会計研究科教授、大阪府立大学名誉教授)

宮嶋 泰子氏(テレビ朝日アナウンサー、早稲田大学非常勤講師)

また、開会行事の前にあるアトラクションについては、本審議会六嶋由美子委員の源氏物語ひとりものがたりと尺八のセッションを行う予定である。

について

(事務局)

ジュニア文化賞が5件、ジュニア文化奨励賞が3件である。また、スポーツ賞は、功労賞が12件、優秀団体賞が1件、優秀選手賞が7件、

第4期宇治市生涯学習審議会 第11回審議会

ジュニア賞が64件の合計84件が受賞された。受賞者については、2月23日の定例教育委員会に報告し、3月1日の市政だよりに掲載させていただく。また、同日開催される宇治市制施行60周年記念式典にて表彰をとり行う予定である。

について

(事務局)

2月19、20日に生涯学習センターで行われ、2日間で46団体が参加された。また、その中で初参加が10団体あり、69コーナーの催しを行った。日ごろの学びの交流、グループ同士の交流を行った。

について

(事務局)

2月27日(日)に太陽が丘出発で10時半よりスタートする。申込について、去年より668名増え、4000人を超えた。これは、過去最高の申込があった平成7年の4300人に続き第2位である。

(2) 協議事項

・平成23年度生涯学習関係当初予算について

第5次総合計画に基づいた初年度の予算組みを行った。基本構想は平成23年度から平成33年度の11年間とし、「みどりゆたかな住みたい、住んでよかった都市」を目指す都市像とした。また、まちづくりの目標を「お茶と歴史・文化の香るふるさと宇治」と定め、

1. 環境に配慮した安全・安心のまち
2. ゆたかな市民生活ができるまち
3. 健康でいきいきと暮らせるまち
4. 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
5. 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
6. 信頼される都市経営のまち

をまちづくりの方向性として取り上げた。なお、生涯学習関連としては4点目が挙げられる。

また、「学校教育の充実に向けた取組」が重点取組の1つとして挙げられている。具体的には、小中一貫教育の推進と小中一貫校の整備、耐震化の推進と学校施設環境の充実、健康安全教育・給食の充実である。次に、平成23年度当初予算の事業概要について説明する。

平成23年度の教育費は、72億6357万5千円、昨年度から13.3%減額となった。しかし、平成22年度の教育費には太閤堤跡の用地取得費17億円が含まれているので、それを除くと平成23年度は6億円の増額となる。また、一般会計歳出予算に占める割合は、11.9%である。子どもの読書活動推進事業費、総合野外活動センター管理運営費、企画展示費(国民文化祭関連等)、図書館資料提供費、特別展示費(巨椋池干拓完成70周年記念事業等)等が主な事業である。

第4期宇治市生涯学習審議会 第11回審議会

- ・「平成23年度社会教育の重点」(案)について事務局から、平成22年度からの変更点を説明した。

(職務代理)

第53回全国社会教育研究大会京都大会開催にかかる市民啓発及び社会教育活動の推進とあるが、市民啓発とは具体的にどういったことなのか？

(事務局)

委員による協賛活動を通して社会教育を知ってもらおうとともに、ホームページや市政だよりなどを活用することである。

- ・コミュニケーションについて事務局よりアンケート結果について報告

(委員長)

次回の審議会には報告書をまとめていきたいので、アンケート結果について委員の皆様のご意見をお聞かせ願いたい。

アンケートの結果について、予想通りの部分もあったが、コミュニケーションに関して聞くことが一番大事だと答えた方が多かったのは意外であった。

また、最近では、メールで簡単に連絡できるようになり、メールで連絡を取られる方が増えたが、その結果両者の意思疎通がうまくいくかという、そうとは言い切れない。

(委員長)

アンケートをお願いした時に何か気付かれたことはあるか？

(委員)

年齢や職業を配慮してお願いしたが、お会いできない方が多く難しかった。

(委員)

若い方がアンケートに答えてくれない。子どもが答えてくれないからと言って親が答える方がいた。

(委員)

この人は答えてくれるだろう、ということを考えてアンケートをお願いしたので、無作為にアンケートをお願いすることができなかった。

(委員)

アンケートの趣旨・目的などが分からない方がいた。これもコミュニケーションが原因だったのかもしれない。

第4期宇治市生涯学習審議会 第11回審議会

(委員長)

個人情報というフレーズが独り歩きしており、何も言わないという方も増えてきている。

(委員)

アンケート項目の文言やコミュニケーションとは何か悩まれている方がいた。

(委員長)

では、今回の結果を踏まえ、次回までにアンケート結果をまとめた上で、次回皆様にお示しする。

・第53回全国社会教育研究大会京都大会の開催に係る協賛等の協力について

(事務局)

社会教育という意味を周知し、大会の趣旨を訴えていくための文書を作成したので、この文書を活用して協賛金の依頼をしていただきたい。また、一人では依頼先を回りにくい部分もあると思われるので、協賛等依頼先一覧を作成し、3人ずつのグループに分けさせていただいた。日程調整等、難しい部分もあると思うが、少しでも多くの方に社会教育というものを周知していただけるよう、よろしく願い申し上げたい。

(委員)

集まった協賛金の用途を明確にしておいた方がいいのではないか。

(事務局)

予算案は資料としてあるので、必要な場合はお渡しする。

(職務代理)

改めて申し上げるが、今回の活動は協賛金を集めることが目的ではなく、我々の主旨に賛同した方にいただくので、スポンサーはいらない。

(委員長)

大会が目的ではなく、この活動を機会により多くの方に社会教育というものを知ってもらうことが大切である。

(職務代理)

物産展に関しては、まだ決定していないが全体会ではやらない方向である。賞味期限のないおみやげ、大会の中身をおみやげとして参加者には持って帰っていただきたい。

第4期宇治市生涯学習審議会 第11回審議会

< 次回の会議について >

平成23年4月18日(月) 午前10時00分から

場所：生涯学習センター 2階 一般研修室